

2003年度第1四半期連結決算(米国基準)

損益の状況 (単位:億円)	2003年度		2002年度		2003年度 通期業績見通し		前年同期比の増減
	第1四半期	第1四半期	増減	第1四半期	増減	達成率	
売上高	35,618	30,219	5,399		143,000	25%	
売上総利益	1,867	1,605	262	a 16%の増益	7,750	24%	a.【売上総利益】 石油関連製品取引等の採算改善、及び鉄鋼製品販売子会社(マルワ)の新規連結などの影響により、262億円(16%)の増益となった。
販売費及び一般管理費	1,556	1,391	165	b	6,450	24%	b.【販売費及び一般管理費】 親会社での年金費用の増加、及びマルワなどの新規連結に伴う負担増が主因。
貸倒引当金繰入額	6	3	3	c	100	6%	c.【貸倒引当金繰入額】 子会社での新規発生貸倒によるもの。
営業利益	305	211	94	44%の増益	1,200	25%	d.【受取配当金】 エネルギー-資源関連の一部権益売却に伴う減少ほか。
利息(受取利息差引後)	40	37	3		200	20%	e.【有価証券損益】 上場株式の圧縮やIPOなどに伴うキャピタルゲインの計上、及び前年度に計上した上場有価証券評価減の反動増ほか。
受取配当金	80	167	87	d	250	32%	f.【固定資産損益】 前年度に親会社で計上した厚生施設売却益の反動減。
有価証券損益	60	35	95	e	250	42%	g.【その他の損益】 主に、デリバティブ会計に基づき、為替予約などの評価損益が大幅に改善したことによるもの。
固定資産損益	1	34	35	f			h.【持分法投資損益】 資源関連が引き続き堅調なことに加え、アジア・欧州の自動車関連会社の業績が伸びていることなどによるもの。
その他の損益	45	74	119	g			i.【会計原則変更による累積影響額】 前年度に導入された新会計基準に基づき、2002年度に既存の逆暖簾を一括利益計上したことなどによる反動減。
税引前利益	449	266	183		1,500	30%	
法人税等	207	140	67		800	26%	
少数株主持分	31	15	16		150	21%	
持分法による投資損益	104	90	14	h	450	23%	
会計原則変更による累積影響額	-	81	81	i	-	/	
当期純利益	315	282	33	12%の増益	1,000	32%	
基礎収益(*1)	455	434	21		1,800	25%	

(*1)基礎収益 = 営業利益(貸倒引当金繰入額控除前) + 利息収支 + 受取配当金 + 持分法による投資損益

資産と負債の状況	2003年6月末	2003年3月末		2004年3月末見通し (5/14公表時)	2003年3月末比の増減	
			増減		増減	
総資産	81,985	80,979	1,006	j	80,000	1,985
株主資本	10,088	9,371	717	k	10,000	88
有利子負債(*2)	40,402	39,129	1,273	l	38,000	2,402
(有利子負債倍率GROSS)	(4.0倍)	(4.2倍)	(0.2倍)		(3.8倍)	(0.2倍)
(有利子負債倍率NET)	(3.6倍)	(3.8倍)	(0.2倍)		(3.4倍)	(0.2倍)

(*2)有利子負債には「割引手形(92億円)」及び「FAS133適用による影響額(768億円)」を含めておりません。

【主要指標推移】

	2003年度 第1四半期	2002年度 第1四半期	増減
油価(USD/BBL)	24.4	24.4	- (-)
為替(YEN/USD)	118.5	127.1	8.6 (7%の円高)
金利(%)TIBOR	0.09	0.09	- (-)

【参考数値について】

- *1 基礎収益 : 当社の収益力を測るため、経常的に発生する損益項目を集計した参考値。
*2 有利子負債 : BSに計上された有利子負債勘定のうち実際に当社に返済義務のある調達資金に限定した参考値。